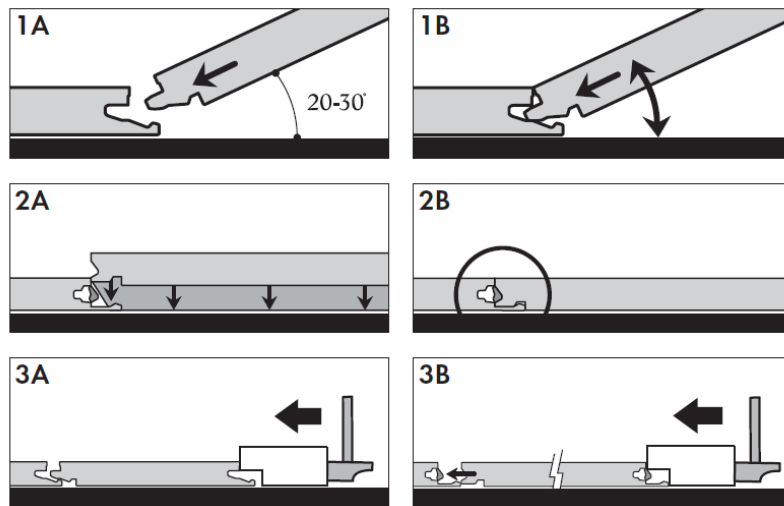


## ユニバーサル・ハードウッドフローリング マルチフィット施工方法

### 【概要】

ユニクリック・マルチフィットは、三層床材を敷くための画期的なシステムです。精巧な雄サネと雌サネの形状によって、パネル同士を簡単にクリックできます。ユニクリック・マルチフィットのユニークな点は、下記の 3 つの異なる方法で、床板を敷く事ができるという点です。

- A. 20～30° の角度でクリックします。(図 1A-1B)
- B. 短い方の端を押し下げる。(図 2A-2B)
- C. 水平に押し入れる。(難しい状況では) 適切なタッピングブロックを使用する。(図 3A-3B)



### 【下準備】

必ず施工方法に従ってください。

施工前および施工中、すべてのパネルについて、損傷や不具合が無いか確認してください。

(確認作業は、日中行ってください。) 損傷のあるパネルは使用しないでください。

#### 一 順応

床は、木にとって最適な湿度レベルになるよう、事前に乾燥させています。その為、木製床が最終的に敷かれる部屋にて、フローリングパネルを数日間、パッケージの中で順応させてください(夏は最低 48 時間、冬は 4～5 日間)。こうする事で、床は周りの環境に順応できます。

#### 一 気温と相対湿度

敷く際に最適な環境は、気温 18～20℃、相対湿度 45～65%です。木製床にとって、敷いた後も、相対湿度が 45～65%である事は非常に重要です。冬は、通常、部屋内の空気が非常

に乾燥しています。そのため、常時湿度レベルを保てるよう、ラジエーターに加湿器をつける事ができれば最適です。大きな部屋の場合、電気加湿器が必要になるでしょう。夏や秋のように、相対湿度が高い時は、よく部屋を換気してください。

#### － 床下地

床下地は、乾燥し、賢固で、汚れのない平らな状態であることを確認してください。

不陸は2 m当たり3 mm以下に調整して下さい。

下地の不陸を確認し、床張り工事に影響が有る場合は手直ししてからフロアを張って下さい。特にRCスラブ上に直接施工する場合は、コンクリート片等のハツリは必要不可欠です。

三層床材は在来工法・ツーバイフォー工法・パネル工法・軽量鉄骨工法・RC造等々全ての工法に使用できますが、必ず12 mm以上の下地合板を張って下さい。

#### 【必要なもの】

木製床を敷く際に必要な標準の道具（ハンマー、のこぎり、鉛筆、テープメジャー）の他、下記のアクセサリが必要です：

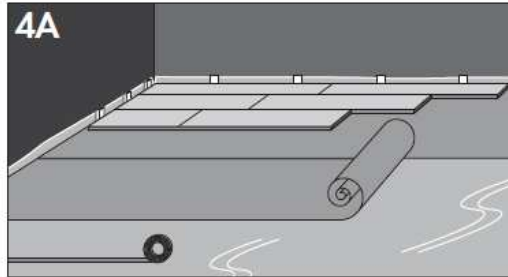
- － スペーサー（楔）、タッピング・ブロック、引き寄せ金具（現場による）
- － 2 mmから3 mm厚のクッション。
- － メンテナンス製品

不適切なアクセサリの使用は、床に損傷を与える原因となります。そのため、使用するアクセサリは、この種の三層床材用にデザインされ、テスト済の物のみをお勧めします。

もちろん、ボードをのこぎりで切る必要があります。クリーンなカットのために、床板の表面をjigsaw または手持ち circular saw にて切る際は常に下、Hand saw や cross-cut saw の場合は、常に上に向けて切ってください。

### 【アンダーフロア】

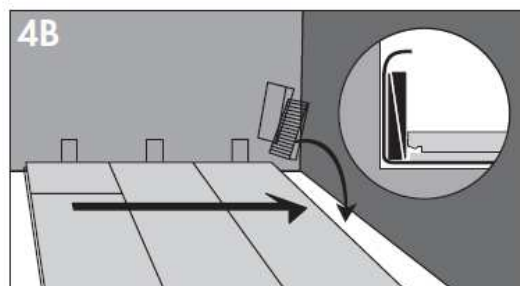
床下地の不陸を滑らかにするには、2 mmから3 mm厚のクッションを必ず使用してください。ほとんどの場合、床下からの湿気または結露に対し、湿気防止を兼ねたクッションを使用したほうがよいでしょう。フローティングで三層床材を敷くのに適した、十分な品質と厚みのあるアンダーフロアを使用してください。ポリスチレンまたはポリエチレンフォーム下地材の密度は、最低でも  $25\text{kg/m}^3$  が必要です (図 4A)。



### 【施工ーフローティング】

#### <正しく敷く>

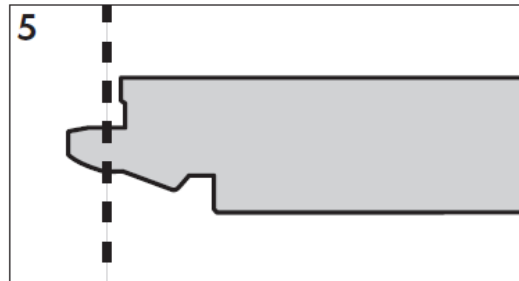
ユニクリック・マルチフィットの主要材料は木です。部屋の湿度は変化するため (例えば夏と冬で変わります)、木が膨張したり収縮したりできることが重要です。膨張と収縮は長手方向に起きる可能性が高いため、表面面積が大きければ大きいほど、許容値も大きくなります。床は全方向に膨張と収縮ができなければなりません。そのためには、壁との膨張ギャップは8 mmから10 mm 必要です (図 4B)。このギャップは、through pipe や敷居がある場所でも必要です。



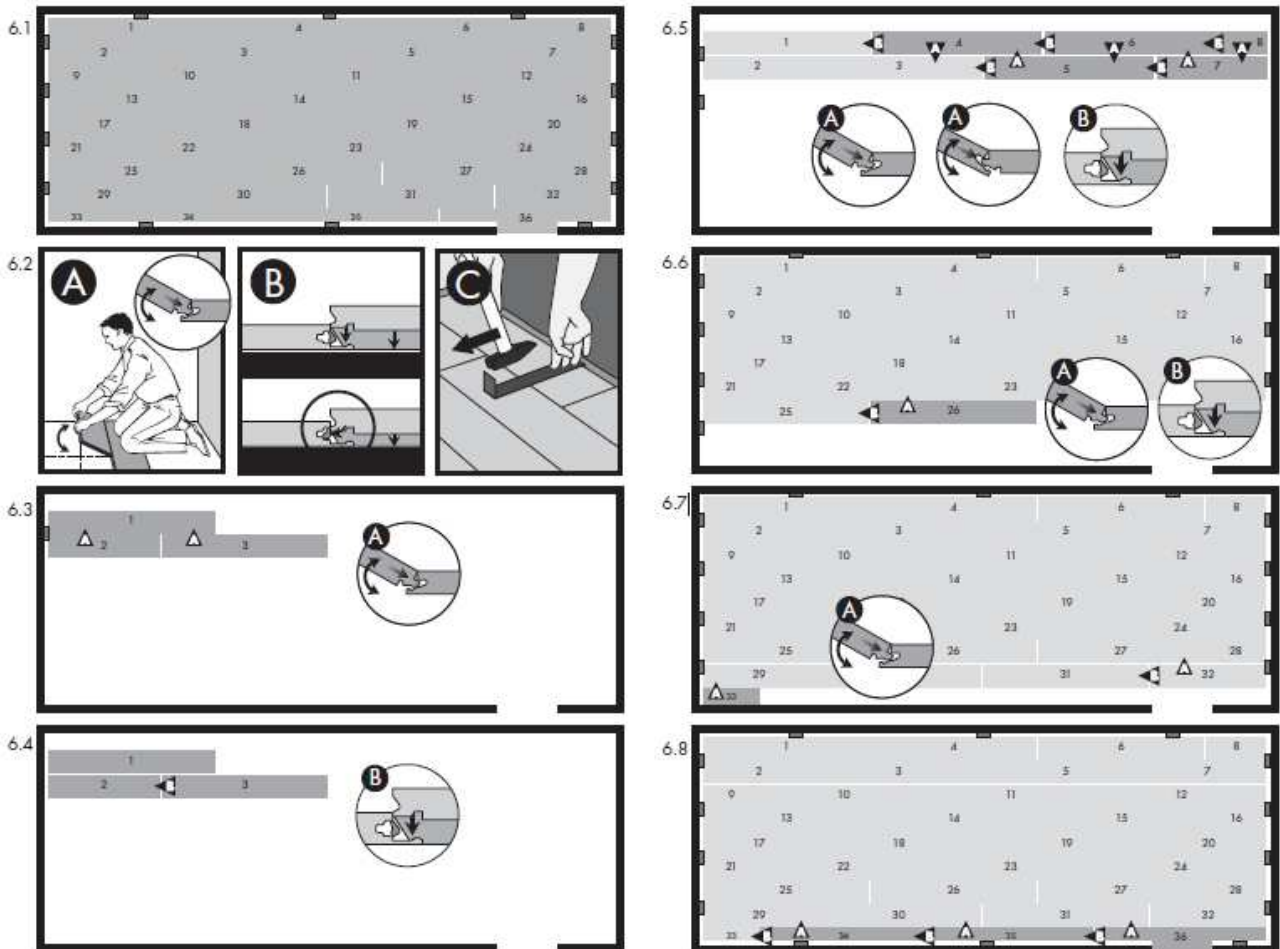
長さ 12m以上、幅 8m 以上の場合、見切り材を入れてください。床は1方向に動く可能性があります。どのような場合でも、異なる部屋の間 (たとえばドアの下) には見切り材を入れてください。これらのジョイントは、床板ではなく、下地に取り付けられた見切り材でカバーされます。できればパネルは、最も長い壁と同じ方向で、光が落ちる方向に敷いてください。床を敷くのは、部屋の隅からでも、中央からでも可能です。さらに、右から左方向、またはその逆でも可能です。

<最初の3列>

最初は完全な床板から始めてください。最初のパネルについては、長い雄サネと短い雄サネ、両方を切り落としてください。(図5)

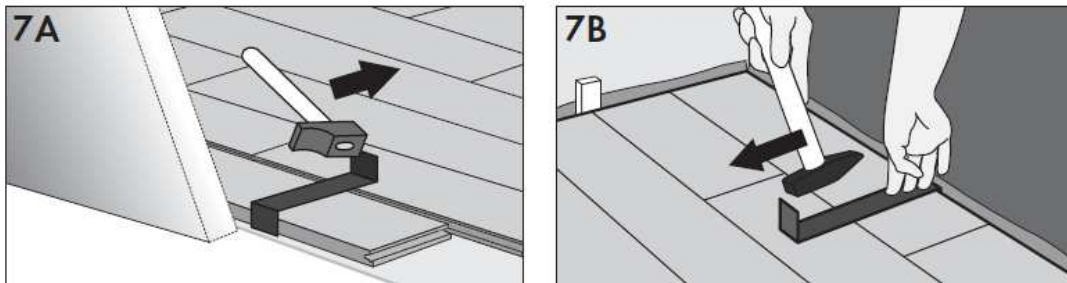


(図 6)



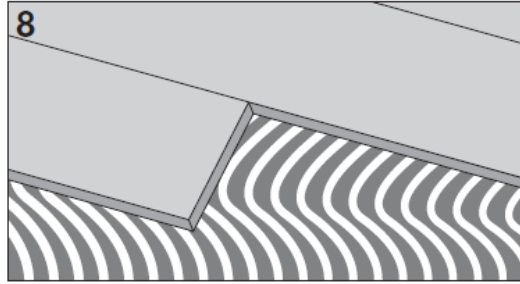
**<最終列>**

最終列と壁の間には8 mmから 10mm の隙間を確保してください。最終列のパネルの長手を切る際は、この事に留意してください。(図 7A-7B)



**【施工-Glued】**

別の方法として、ユニクリック・マルチフィット床材はベースフロア全体に接着剤で取り付け可能です。直接接着する方法は、それに適した下地に対してのみ可能です(図 8)。

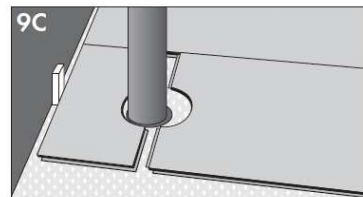
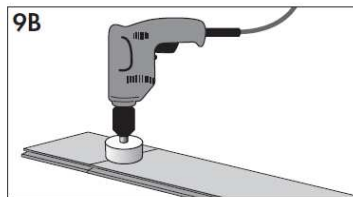
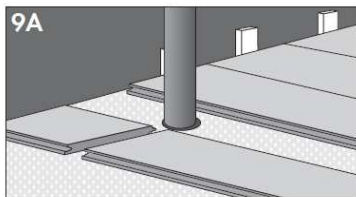


接着力、弾力性、劣化、湿気防止等、この種の三層フロアに適合している接着剤を使用してください。乾燥時間、塗布量、使用工具等は、接着剤メーカーの情報と指示に従ってください。

接着剤を使って床を敷く際、長いサイドは 20~30° の角度で先の列にクリックしてください。短いサイドは新しいユニクリック・マルチフィットシステムにクリックしてください。つまり、床板は交差するように押し込む必要は無くなりますので、接着剤がジョイントに染み出さなくなります。

### 【Through Pipe】

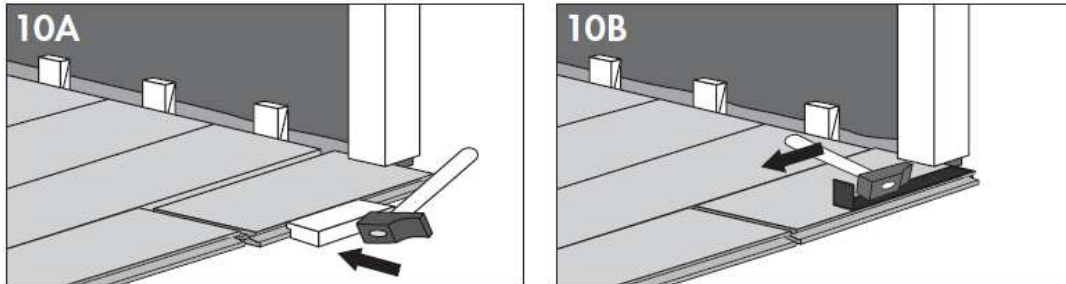
Through pipe がある列では、必ずパイプ部分に、2つのパネルの cross joint が来るようにしてください。パイプの直径に、膨張分として 20mm を足し、ドリルビットを使ってください。短いサイドでパネル同士をクリックし、2つのパネルの接合部を中心に、穴をあけてください。そして、パネルを床の一部として設置してください。(図 9A-9B-9C)



### 【ドア枠の下】

最低 8 mm から 10mm の隙間あるようにパネルを切ります。

パネルに角度をつけれない場合は、引き寄せ金具またはタッピングブロックとハンマーを使い、パネル同士をタップしてください。(図 10A-10B)

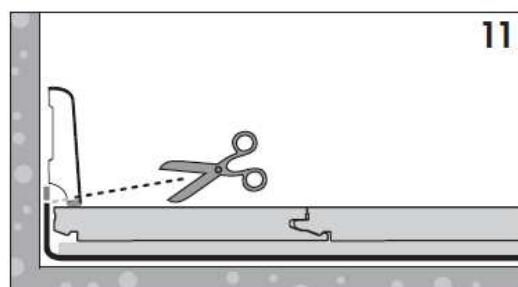


### 【仕上げ】

フローティングで床を敷く場合、終了後すぐに上を歩くことができ、仕上げ作業を開始できます。これはユニクリック・マルチフィットシステムの大きな利点です。

接着剤を使用する場合、敷いている最中は、接着部分をできる限り歩かないようにしてください。歩く前に、接着剤容器に記載されている、規定の待ち時間を守ってください。

- すべてのスペーサーを外してください。
- 床の膨張や収縮が妨げられないよう、絶対に幅木または見切り材を床板に取り付けしないでください。
- 適切な rosettes または elastic pasted にてパイプを仕上げてください。
- 見切り材や幅木が置けない場所では、permanent elastic kit にて膨張隙間を埋めてください。(図 11)



### 【床暖房】

ユニクリック・マルチフィット parquet は、低温床暖房と併せて使用できます。これは、Heating component (温水または電気) が床に埋め込まれている床下暖房システムでも同じです。ヒーティングフィルムや他の新しいシステムは、どれでも適しているわけではありません。

ビーチとメープルの床は、収縮にとっても敏感ですので、床暖房には適していません。

床暖房は、parquet を敷く最低 2 週間前に開始してください。ボイラーの水温は、1 日 5°C ずつ（それ以上にはしないでください）、徐々に 50°C まで上げてください。もしそれより長く暖房をつけておけるなら、もちろんその方が望ましいです。

床を敷く前に、完全に暖房を切ってください。床の温度は最大でも 18°C までにして下さい。

床を敷いた後、暖房再開まで、最低でも 48 時間は待ってください（温度は 1 日 5°C ずつ、徐々に上げてください）。

Parquet の接触できる温度は、最大で 27°C です。

温水の温度は、最大で 50°C です。

暖房期間中は、常に、開始時と停止時の温度は徐々に上がったり下がったりするようにしてください。

必ず、部屋の相対湿度が乾燥しすぎないようにしてください（上記のとおり）。

- ・ カーペットやラグ、または家具と床の不適切な隙間による熱の蓄積を避けてください。
- ・ 暖房の季節には、繋ぎ目に隙間が現れることがあります。

### 【注意事項】

木は自然の製品です。木の構造や色は変わることがあります。そのため、異なる包みからボードを取り出し、混ぜて敷く事が望ましいです。

他の自然製品同様、木の表面は、日光により変色することがあります。

- ・ 家具やイスの脚は、フェルトやプラスチックのキャップでカバーし、保護してください
- ・ ドアマットを使用し、外から埃、水、砂が入ってくるのを防いでください
- ・ Parquet に適した、タイプ W のソフトホイール（EN 12590）付きのオフィスチェアを使用してください。または適切なオフィスマットを使用してください。

### 【メンテナンス】

ユニクリック・マルチフィット parquet の、毎日のお手入れとして最適なのは掃除機による掃除です。

濡れた布での軽いお手入れには、適切なメンテナンス製品キットとダスターの使用をお勧め





めします。すぐに、乾いた布でふき取り、目で見ても濡れていない状態にしてください。

**注意！** Parquet フロア用のすべてのメンテナンスキットが、必ず本製品に適しているとは限りません。